

ユーロテックス

-EUROTEX-

全汚染対応 ハイラジカル制御型

外装用シリコンレジンエマルション塗料

はっすい
撥水性

雨をはじいて 全ての汚れをよせつけにくい！

ユーロテックスの塗膜は、塗装後乾燥して時間が経つと、
優れた撥水性を発揮します！

※塗装後の気温・湿度により撥水性の発現に時間がかかる場合があります。



ユーロテックス



一般的なシリコン
樹脂塗料

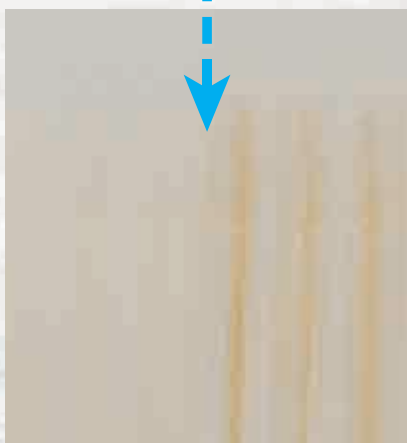
全ての汚れに強い！

※過度な汚れは落ちませんのでご注意ください。

雨をはじくことで一般的な雨筋汚れだけでなく、防止が困難なさび汚れに効果を発揮します。

さび・黄砂などの 無機質な汚れに強い！

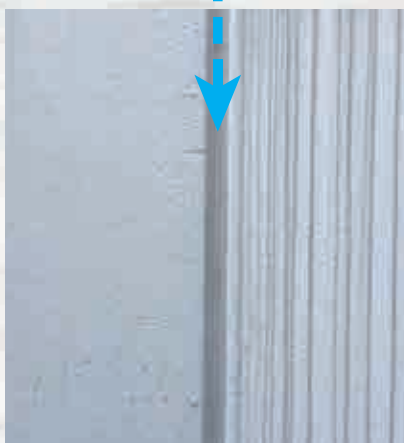
ユーロテックス | 一般的なシリコン
樹脂塗料



さび汚れ耐性暴露試験：大阪6か月

有機質な汚れにも強い！

ユーロテックス | 一般的なシリコン
樹脂塗料



外壁の実塗装結果：大阪2年

ユーロテックス | 一般的なシリコン
樹脂塗料



カーボンスラリー法試験

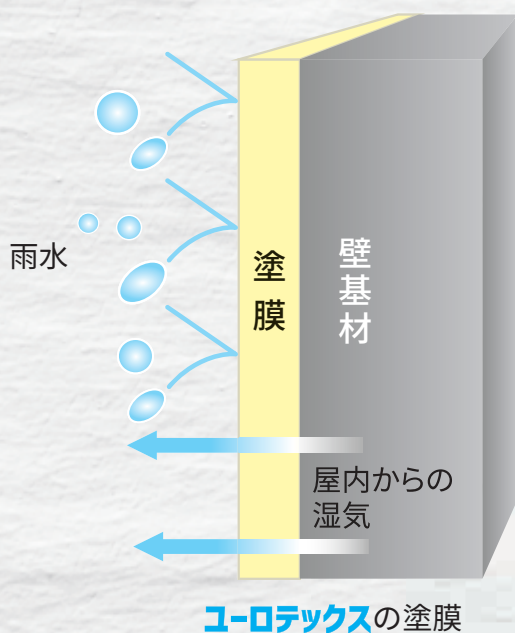
水谷ペイントYouTubeチャンネルにて、ユーロテックスの製品説明・一般製品との撥水性比較動画を公開中です。ぜひご覧ください♪

↓詳しくはYouTubeで検索↓

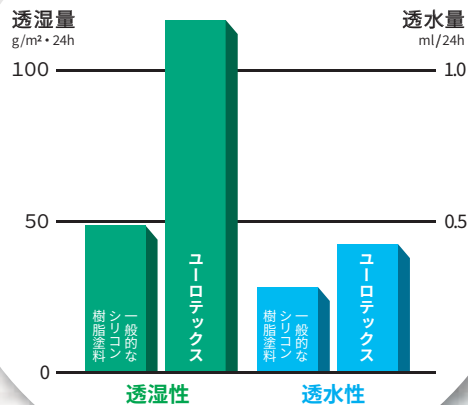


くたい 躯体を守る！

雨水の浸入を防ぎ、屋内の湿気を逃がすことで、凍害や結露の発生を抑制します。



透湿性と透水性



シリコン成分
の
量が違う！



ドイツの技術が、 日本の住宅を守る！

ユーロテックスは、ヨーロッパで数多くの実績を持つ

水系樹脂 (=ラテックス)、[シリコーンレジンエマルション](#)を採用した外装用塗料です。

樹脂の元となるシリコンは、純度を上げると半導体等の最先端技術にも使用されています。

[シリコーンレジンエマルション](#)は、シリコンを高密度に

仕上げることで、優れた性能を発揮します！

純シリコンは、
半導体等の最先端素材の
原材料になる。



写真はシリコンインゴットと呼ばれ、
半導体となる高純度シリコン

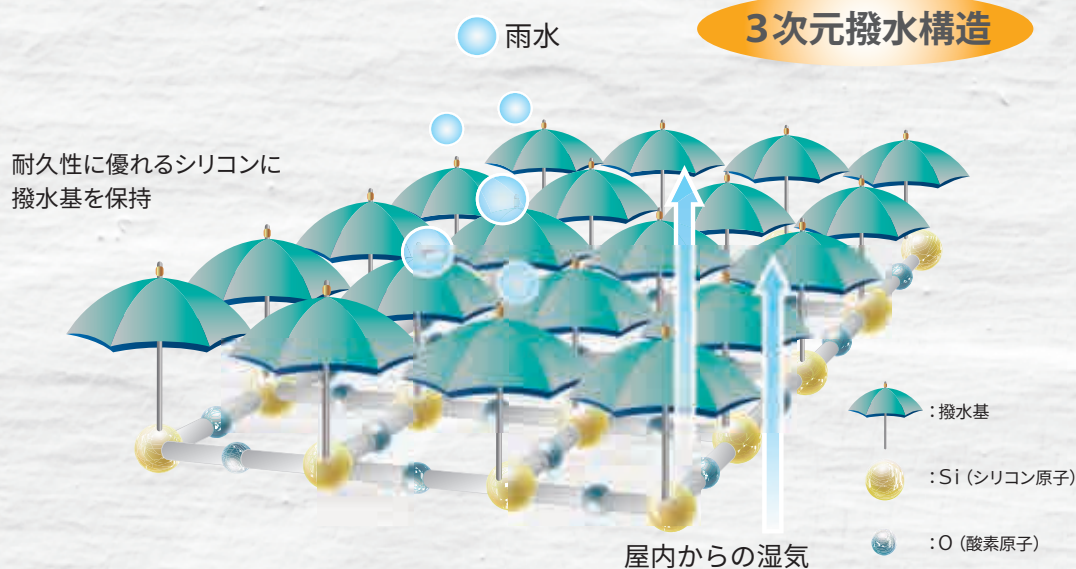
はっすい

撥水性と透湿性の持続

はっすいき

高密度なシリコン成分に撥水基を備えたシリコーンレジンエマルションは、3次元撥水構造により塗膜がなくなるまで撥水性と透湿性を保持します。

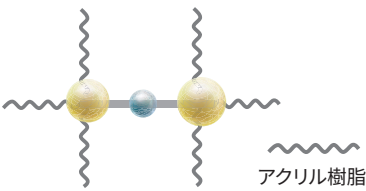
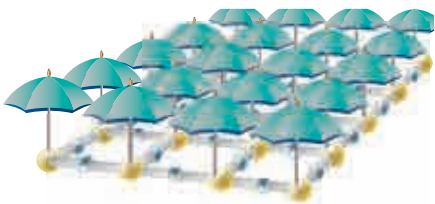
ユーロテックスの樹脂モデル



撥水性を発現するメカニズムに、表面を凹凸構造にしたり、フッ素系添加剤を活用したりする手法がありますが、これらは表面状態の変化や、風雨により添加剤が流れ出ることによって持続しにくいというデメリットがあります。

圧倒的なシリコン成分量！！

ユーロテックスと日本のシリコン塗料との比較

	日本のシリコン塗料	ユーロテックス
樹脂	アクリルシリコン樹脂 シリコン量 2%※	シリコーンレジンエマルション シリコン量 15%※
特長	2次元	3次元撥水構造
	 アクリル樹脂 アクリル樹脂の一部に少量のシリコン成分を組み込む。正確にはアクリルシリコン樹脂塗料	 シリコン成分が高密度になり、一部に撥水基を保持する。

※ 樹脂固形分の燃焼残分

特長

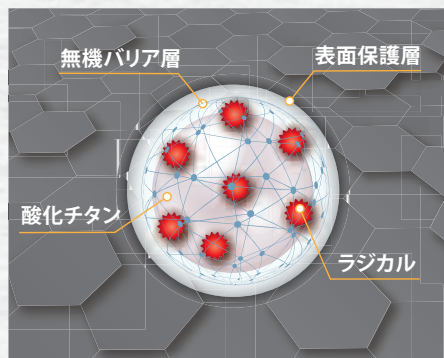
撥水だけじゃない、 変色しにくい塗膜の秘密

シリコーンレジンエマルジョンの性能と、独自のハイラジカル制御技術により、
長期間色褪せない塗膜を形成します。



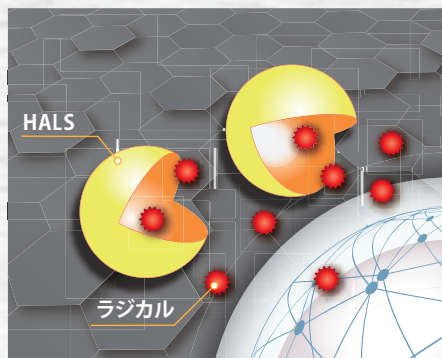
耐久性

酸化チタンの表層保護



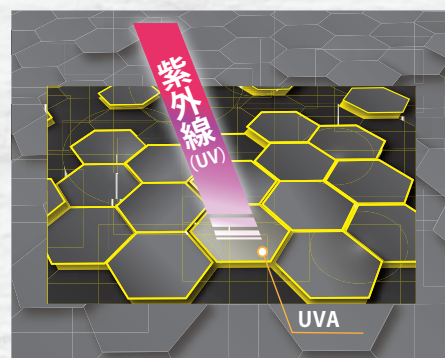
ラジカルの発生源である酸化チタンの表層を保護し、ラジカルの発生を抑制します。

HALSによるラジカルの捕捉



一般的な添加とは異なり、酸化チタンの周りにより多くのHALSを配置させることで効率よくラジカルを捕捉します。**(ハイラジカル制御)**

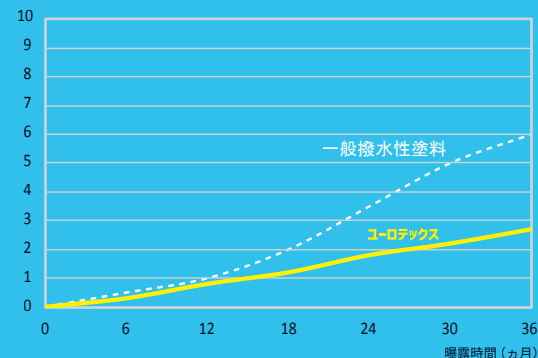
UVAによる塗膜保護



UVAが紫外線による劣化を抑制します。

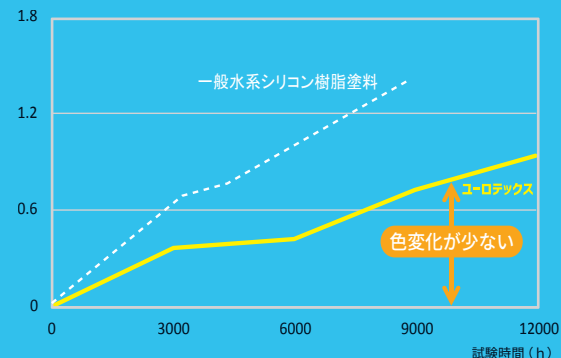
色差(大阪曝露)

色差 (ΔE = 数値が小さいほど良い)



色差(キセノンランプ法)

色差 (ΔE = 数値が小さいほど良い)



その他の性能

上品な完全艶消し

完全艶消しの落ち着いた仕上がりで上品な印象を与えます。

高い安全性

水系塗料のため、臭いはもちろん有害物質を揮発しません。また、ご近所トラブルの回避や、小さいお子様がいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

防カビ・防藻性

長期にわたり、カビや藻を防ぎます。

一般水系シリコン樹脂塗料



ユーロテックス



塗装仕様

1. 新規塗装・改修塗装(コンクリート・モルタル素地)

●テクスチャーをつける場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下(デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1～0.2	1	75～150	—	2h以上	—
下地調整材	リフレッシュフィラー 16kg	1～3% (希釈水)	マスチック ローラー	0.8～1.5		11～20		16h以上	
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ エフロレッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」を塗装してください。

●テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下（デジタル水分計）、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1～0.2	1	75～150	—	2h以上	—
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ エフロレッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」または「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。

※ 上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー 白」をご使用ください。

2. 改修塗装(複層仕上塗材、薄付け仕上塗材)

●テクスチャーをつける場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュフィラー 16kg	1～3% (希釈水)	マスチック ローラー	0.8～1.5	1	11～20	—	16h以上	—
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ 旧塗膜の劣化が著しい場合は、下塗りに「水系Wシーラー」をご使用ください。

●テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュ サフェーサーエポ 16kg	3～5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2～0.5	1	32～80	—	3h以上	—
		4～6% (希釈水)	エアレス	0.3～0.5		32～53			
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ 旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」の他に「水系Wシーラー」も使用可能ですが、上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー 白」をご使用ください。ただし、リシンには不適ですので、「リフレッシュサフェーサーエポ」を推奨します。

安心のオール水系仕様

3. 改修塗装(窯業系サイディングボード) ※テクスチャーは変えられません。

●旧塗膜の劣化が著しい場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュ サフェーサーエポ 16kg	3～5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2～0.5	1	32～80	—	3h以上	—
		4～6% (希釈水)	エアレス	0.3～0.5		32～53			
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ 光触媒・無機・フッ素系のもがコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。
※ 旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」の他に「水系Wシーラー」も使用可能ですが、上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー白」をご使用ください。ただし、リシンには不適ですので、「リフレッシュサフェーサーエポ」を推奨します。

4. 改修塗装(金属系サイディングボード)

工程	使用塗料	希 積 率	塗 装 方 法	塗 付 量 (kg/㎡/回)	塗 回 数 (回)	塗 面 積 (㎡/セット)	塗 装 間 隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した正常な面にする。								
下塗り	水系ハイエポ 主剤 9kg 硬化剤 6kg	5～7% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.16～0.18	1	83～94	—	16h以上 7日以内	—
上塗り	ユーロテックス 15kg	5～10% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12～0.16	2	47～62	2h以上	—	24h以上

※ 光触媒・無機・フッ素系のもがコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。
※ 下塗りとして別途「エポックマイルド#2000」も使用可能です。
※ 上塗りの色によっては3回塗装が必要な場合があります。

5. その他の下塗り材

●エフロレッセンスの発生が懸念される場合(2液マイルドウォールシーラーは溶剤系の塗料となります。)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1～0.15	1	73～110	—	5h以上 7日以内	—

※ シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。

●難付着性サイディングボードの場合(高密着シーラーは溶剤系の塗料となります。)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	高密着シーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1～0.15	1	73～110	—	5h以上 7日以内	—

※ 光触媒サイディングの場合、上塗り塗料は必ず規定量を塗付していただき、塗りムラや透けないようにお願いいたします。

<塗装仕様上の注意事項>

※ 雨水が集中して流れる箇所は(躯体を保護するために)、あらかじめ「水系Wシーラー」でタッチアップしてください。

※ 軒天、上裏など水廻りが予想される場所にはリフレッシュフィラーを塗装しないでください。

クラック、剥離の原因となりますのでシーラー+上塗り(2回塗り)で仕上げてください。

※ 塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※ 下地のテクスチャー・パターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。

※ シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。

※ 旧塗膜が弾性塗材で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。

用 途

●窯業系外装材各種

窯業系サイディングボード、複層仕上塗材、薄付け仕上塗材、波型スレート、コンクリート・ブロック塀、モルタル、コンクリート製擁壁、住宅基礎

●金属系外装材各種

金属系サイディングボード



コンクリート製擁壁



モルタル壁



住宅基礎

荷 姿

ユーロテックス		15kg	2液マイルドウォールシーラー 11kgセット（主剤 10kg 硬化剤 1kg）
水系Wシーラー		15kg	水系ハイエボン 15kgセット（主剤 9kg 硬化剤 6kg） 5kgセット（主剤 3kg 硬化剤 2kg）
リフレッシュフィラー		16kg	高密着シーラー 11kgセット（主剤 10kg 硬化剤 1kg）
リフレッシュサフェーサーエポ		16kg	

注意事項

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度（80%以上）・低気温（5℃以下）の場合は施工を避けてください。
高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると白化等の不具合を起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装乾燥過程で降雨、結露などがあつた場合、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますのでご注意ください。
4. 降雨や結露によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
5. 雨水の集中する部位において、汚れが付着することがありますのでご注意ください。
6. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
7. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
8. 低温、高温時は乾燥が遅くなることがありますので、塗装後1～2日は粉じんなどの汚染物質の付着にごご注意ください。
9. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
10. 塗装は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠蔽力不足・仕上がり不良等につながりますのでご注意ください。
11. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
12. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
13. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
14. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので必ず養生してください。
15. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時はラッカーシンナーでふき取ってください。
16. 酸洗いを行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗いは急入りに行ってください。
17. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
18. 目地部に塗料がたまつた場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
19. 塗装中に塗料を解放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
20. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
21. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
22. 防カビ・防藻性については下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
23. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。
やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
24. 使用前には充分攪拌してください。
25. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
26. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
27. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬期には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
28. 排水溝には捨てないでください。
29. 濃色や原色に近い色は、塗膜を強くすると色落ちや白い擦過痕が残る場合があります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
30. 化学物質過敏症の人は塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
31. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
32. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
33. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。



営業拠点

水谷ペイント株式会社

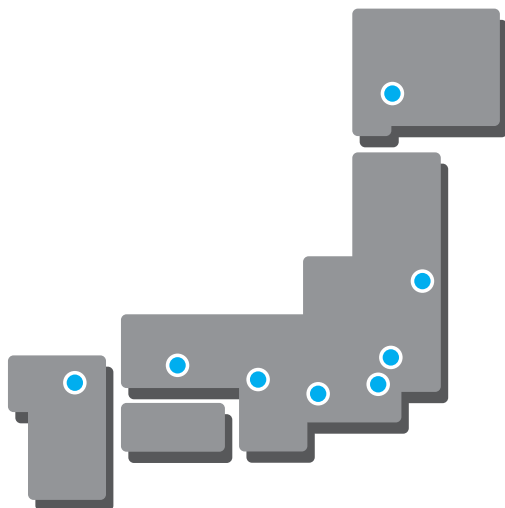
塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…

☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)



札幌営業所

〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 5-2-6
TEL：(011)824-5711 FAX：(011)824-6464

仙台営業所

〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町 1-22-36
TEL：(022)782-6770 FAX：(022)232-6871

埼玉工場・北関東支店

〒348-0038 埼玉県羽生市小松台 2 丁目 705 番地 22
TEL：(048)563-0355 FAX：(048)563-5124

東京支店・東日本開発部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-5 NS 岩本町ビル
TEL：(03)3865-8177 FAX：(03)3865-8760

中部支店

〒486-0815 愛知県春日井市十三塚町 3 番地 6
TEL：(0568)85-3551 FAX：(0568)85-3556

本社・工場

〒532-0006 大阪市淀川区西三国 4 丁目 3 番 90 号
TEL：(06)6391-3151 FAX：(06)6393-1101

大阪支店・西日本開発部

〒532-0006 大阪市淀川区西三国 4 丁目 3 番 90 号
TEL：(06)6391-3401 FAX：(06)6391-3456

広島支店

〒734-0022 広島市南区東雲 1 丁目 13-16
TEL：(082)284-6556 FAX：(082)283-0017

福岡支店

〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原 2628-1
TEL：(092)611-5731 FAX：(092)621-2301

